

出生前検査を迷われている、または希望されている方へ

妊娠初期は体調の変化やこれからのことについて様々な思いを抱かれる思います。赤ちゃんのことについて気になることやご不安に感じることがある方もいらっしゃるかもしれません。妊婦健診では妊娠の経過に応じて繰り返し超音波検査を行い、赤ちゃんの発育や状態を確認していきます。赤ちゃんが成長するにつれて観察できる範囲が広がり、形の異常の一部は妊婦健診の中で見つかる場合もあります。また 21 トリソミー（ダウン症）、18 トリソミー、13 トリソミーは頻度の多い染色体異常であり、母体が高齢になるほど頻度が高くなるといわれています。

ただし、全ての異常を見つけることができる訳ではなく、また妊娠初期の段階では赤ちゃんの評価が難しい場合があります。これに加えて、より詳細に赤ちゃんの状態を評価する方法として**出生前検査**があります。当院では妊娠初期に行う出生前検査として以下の2つを案内しています。

① 胎児ドック(妊娠初期超音波スクリーニング検査)

② NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査)

① **胎児ドック**：超音波検査で NT（頸部のむくみ）、鼻骨、三尖弁逆流、静脈管所見を組み合わせることで3つの**染色体異常**（ダウン症、18、13 トリソミー）を約9割程度で見つけられるとされています。得意；大きな構造異常もわかる場合がある。当日結果がわかる。

不得意：比較的検査精度は高い（約90%）がNIPTには劣る。赤ちゃんの発育や向きによって検査不可。母体年齢に応じて検査実施後の確率が変わる（高年妊娠の場合、確率が高く出る場合がある）。11週から13週まで検査の時期が限定的。

② **NIPT**：母体血液中の赤ちゃんのDNAを調べる検査です。ご夫婦揃ってのカウンセリングが必要です。得意：精度が高く99.9%以上の確率で見逃しが無い。9週から16週まで検査可能であり幅が広い。どの母体年齢の方でも受けることができ、高い精度で評価可能。

不得意：検査対象が3つの**染色体異常**(ダウン症、18、13 トリソミー)のみ。赤ちゃんの構造異常は不明。

胎児ドック、NIPTにおける注意点：

1. 3つの染色体異常が「ある」か「ない」かを示す確定的検査ではありません。
2. どちらの検査も赤ちゃんのすべての異常を見つけることはできません。
3. 検査でトリソミーが疑われる際は、確定的検査である羊水検査が必要となります。

	検査週数	検査方法	わかること	結果	精度 (ダウン症)	費用(税込)
胎児ドック	11週0日～ 13週6日	超音波検査 (NT,鼻骨,静脈管, 三尖弁,構造異常)	3つのトリソミー 大きな構造異常	当日	90%程度	49500円 +カウンセリング 5500円
NIPT	9週0日～ 16週6日	母体採血	3つのトリソミー	1～2週	99.9%以上	121000円 +カウンセリング 5500円 +結果説明 5500円

出生前検査認証制度運営委員会 HP



(必ずご覧下さい)

◇自由診療になるため全額自費負担です。

◇完全予約制のため検査希望時はスタッフにお申し出下さい。

桑名市総合医療センター
産婦人科